

ベナン月報(2018年1月)

主な出来事

【内政】

- 26日, 憲法裁判所裁判官のダト(M. Simplicie DATO)氏が辞任を発表した。他の裁判官6名は留任する。同氏の後任については, 月内に指名される。
- 23日, コトヌにおいて, 政治労働組合団体の FSP はタロン政権の独裁的, 専制的政治に反対するデモ行進を行った。約1, 000人が参加した。

【外政】

- 15日, 日本の参議院議員3名は, アドリアン・ウンベジ国民議会議長を表敬訪問した。いくつかのテーマ, とりわけ二国間協力の強化について意見交換がなされた。会談後, 江島調査団団長は, 二国間関係深化に向けどのようなことをすべきか議長と意見交換した旨述べた。
- 26日, タロン大統領は, エチオピアで開催された第30回アフリカ連合(AU)総会に初出席した。

【経済】

- 12日, アムス(Mme. Amélie Huguette AMOUSSOU-Houéto)コトヌ自治港総裁は, 新年の挨拶で, 2017年の取引金額は325億 FCFA で, 16年の260億 FCFA を上回り, 2018年は400億 FCFA を目標とする旨発表した。
- 17日, パリにおいて, コトヌ市排水計画に関わるラウンドテーブルが行われた。イスラム開発銀行(Bid), 西アフリカ開発銀行(BOAD), フランス開発庁(AFD), 欧州投資銀行(BEI), アフリカ開発銀行(Bad), 世界銀行が支援を表明した。支援総額は, 23. 8億 FCFA に上る。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, L' économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 11日, 国民議会において, 賀詞交換会が行われ, ウンベジ議長は, 2017年は, 44法案, 5, 296億 FCFA の借款について承認した旨述べた。2016年は36法案, 4, 102億 FCFA であった。(12日, La Nation 紙)
- ・ 医療・保健労働組合は, 2017年12月28日に国会で投票された, 医療従事者等公務員のストライキを禁止する法案に反対を表明する形で, 16日朝8時から19日朝8時までストライキの実施を決定した。(11日, Matin Libre)
- ・ 17日, 閣議において, アボメカラビのザンビエ(Zinvié)-セジェデヌ(Sèdjédénou)間32Km 他21. 2Km の道路工事に該当する立退き者1, 375人に対し, 13. 5億 FCFA を支払うことが決定された。(18日, La Nation 紙)
- ・ 22日, 昨年11月より健康上の理由で療養中であったトナト(M. José Didier TONATO)生

活環境・持続的発展大臣が公務復帰した。(25日, L'Événement Précis 紙)

- ・ 23日, コトヌにおいて, 政治労働組合団体の FSP はタロン政権の独裁的, 専制的政治に反対するデモ行進を行った。約1, 000人が参加した。(24日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 26日, 憲法裁判所裁判官のダト(M. Simplicie DATO)氏が辞任を発表した。他の評議員6名は留任する。同氏の後任については, 月内に指名される。(27日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 27日, ドンワウ(M. DONWAHOUE Janvier)国民議会議員は死去した。同議員は, 現在バウ(M. Michel BAHOU)アプロ・ミセレテ市(Akpro-Misséré-té)市長の代理で議員になったが, 現法律上, 2人目の代理は選出されておらず, 次回選挙まで, 国民議会議員数は82名で構成されることになる。(29日, L'Événement Précis 紙)

【外政】

- ・ 9日, ビオ・チャネ計画・開発大臣はアベノンシ外務・協力大臣, ドスウイ農業・畜産・漁業大臣及びコティ・インフラ・運輸大臣とともに, ルケ(M. Stéphane De LOEKER)在ナイジェリア・ベルギー大使を迎え, ブリュッセルエアーの就航数を週4便へ増加すること及びベナンでの大使館新設に関する協定に署名をした。(11日, La Nation 紙)
- ・ 15日, 日本の参議院議員3名は, アドリアン・ウンベジ国民議会議長を表敬訪問した。いくつかのテーマ, とりわけ二国間協力の強化について意見交換がなされた。会談後, 江島調査団団長は, 二国間関係深化に向けどのようなことをすべきか議長と意見交換した旨述べた。(16日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日, 国民議会において, ウンベジ議長は, 列国議会同盟(UIP)のムッチェンベルグ(Mme. Mariana Duarte MUTZENBERG)外交団長と会談した。同団長は, ベナン国民議会の女性の比率はわずか10%で世界平均の23.5%には達していない旨述べて, 同国の議員数の女性比率増を期待した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 26日, タロン大統領は, エチオピアで開催された第30回アフリカ連合(AU)総会に初出席した。(29日, L'Événement Précis 紙)

【治安】

- ・ 14日, 憲兵隊はコトヌ-ロメ間のアガトボ(Agatogbo)検問所において, 80キログラム以上の麻薬を押収した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 19日, チャウル市のキカ(Kika)地区の市場において, 5トンの綿花が燃える事件があった。(22日, La Nation 紙)
- ・ 19日, グロジベ空港建設に関わる立ち退き問題で土地売買に関する平米あたりの単価に不満を持った住民が警察官と衝突した。警察官13名が怪我, 住民44名が事情聴取の為, 警察へ連れて行かれた。その内4名は勾留, 21名は取調をうけ, 19名は証拠不十分で解放された。(29日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 21日, ウェメ谷で遊牧民と農夫の対立があったことが原因で, 20日から行方不明となっていた農夫の遺体が, ボヌ市のパパス(Kpakpassa)村で発見された。(22日, Le Matinal

紙)

- ・ 20日、サベの金融機構(Asf)に3人の男が押し入り、所長及びレジ係に発砲した。(22日、Le Matinal 紙)
- ・ 20日、セイドウ(M. A;assane SEIDOU)保健大臣は、記者会見で、ラッサ熱が原因で4名が死亡した旨述べ、手洗いや、ネズミ、感染がある疑いの人には近づかないよう注意喚起した。(22日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 22日、チャウル市のナイジェリア国境のアジュバ(Adujuba)地区で、アジュバ村民とナイジェリア警察の間で衝突があり、ベナン人1名が死亡、1名がナイジェリア人警官に脚を撃たれパラクの病院に搬送された。また、ナイジェリア人警官1名も怪我を負った。衝突の原因は不明である。(24日、La Nation 紙)
- ・ 22日、パラク市2区のバカ(Baka)地区で、精神障害を有する20歳前後の男性が、元校長で、同容疑者の叔父と思われる男性を撲殺した。23日朝には、同容疑者は逮捕された。(24日、La Nation 紙)
- ・ 22日、クッフオ県のジャコトメ(Djakotomé)市において、強盗団が強奪したとみられる不法武器2丁、バイク7台、ソーラーパネルバッテリー及び羊、山羊といった家畜が押収された。(24日、La Nation 紙)
- ・ 22日、ポルト・ノボ市の Jean Bayol 広場近くのアウアンボ(Ahouangbo)市場で火災が発生し、商店3店舗が全焼した。出火の原因は分かっていない。(23日、La Nation 紙)
- ・ 24日、数日前よりボルグの病院に入院していた患者3名はラッサ熱が原因で死亡した。現在、アタコラ県、ボルグ県でラッサ熱感染者が確認されている。(25日、La Nation 紙)
- ・ 30日、アプラウエ(Aplahoué)市でバッテリー11台、ソーラーパネル9台(内5台は政府所有物)、バイク7台及び山羊7匹窃盗の疑いで6人の容疑者が逮捕された。(2月2日、Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 8日、コティ・インフラ・運輸大臣は、ベルギーのアントワープ港湾運営会社との間でコトヌ港の運営改善に関わる協定を結んだ。3期9年契約、調査期間も含めると約10年になる。(11日、L' économiste 紙)
- ・ 12日、アムス(Mme. Amélie Huguette AMOUSSOU-Houéto)コトヌ自治港総裁は、新年の挨拶で、2017年の取引金額は325億 FCFA で、16年の260億 FCFA を上回り、2018年は400億 FCFA を目標とする旨発表した。(15日、La Nation 紙)
- ・ 17日、パリにおいて、コトヌ市排水計画に関わるラウンドテーブルが行われた。イスラム開発銀行(Bid)、西アフリカ開発銀行(BOAD)、フランス開発庁(AFD)、欧州投資銀行(BEI)、アフリカ開発銀行(Bad)、世界銀行が支援を表明した。支援総額は、23. 8億 FCFA に上る。(19日、Le Matinal 紙)
- ・ 24日、閣議にて、サバル(Savalou)市に15の給水案件を緊急的に実施することが決定された。(25日、Le Matinal 紙)

- ・ 24日、閣議にて、2008年からある農家相互保険の強化が決定された。西アフリカ開発銀行(BOAD)の支援により、綿花(35万人)、米(1,000人)の2種の農家対象に保険が導入されることになる。(25日、La Nation 紙)
- ・ 27日、アダンビ水利・鉱山大臣は、パラク市及び周辺地域での給水事業計画起工式を行った。これから11か月後には、パラク市民は飲料水の課題から解放されることになる。現在のところ同市には、43年前に建設されたオパラダム給水施設のみしかなく、施設老朽化及び人口増加が見込まれ今後需要が高まるとの視点から、西アフリカ開発銀行が190億 FCFA を供与し、事業が行われることになった。(30日、La Nation 紙)
- ・ アフリカ開発銀行(BAD)が発表した報告書「アフリカ経済の展望」によると、ベナンの2017年の実質国内総生産の成長率は5.5%で16年の4.0%を上回る。また、2018年は6.5%、2019年は6.9%になるとの見通しである(30日、Le Matinal 紙)

【文化・その他】

- ・ 12月24日、アトランティック県ウビエ(Hevie)の Recade 複合教育施設において、ベナン柔道連盟協力で建設された柔道場の引渡式が行われた。(23日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 23日、2月16日の中国の新年に合わせ、2月1日より新年祭が開催される。イベントや卓球大会などが予定されていると中国文化センターのウェイ(M.Jun WEI)館長は述べた。(25日、Matin Libre)
- ・ 27日、ベナン柔道連盟は、17-18年度の練習を開始するとし、ウエメ・プラト県の柔道家たち約100人をポルト・ノボにある国立図書館柔道場に招待した。(2月1日、La Nouvelle Tribune 紙)